



ひたちなか市

土砂災害

ハザードマップ



わが家の防災メモ

わが家の避難場所				わが家の集合場所			
家族の名前				メ モ (病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)			
家族の連絡先	生年月日	血液型					
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+ / -)					
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+ / -)					
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+ / -)					
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+ / -)					

困ったときの連絡先 親戚や知人・かかりつけ病院などの連絡先を書いておきましょう!

名前	電話	住所	その他

お問い合わせ:ひたちなか市 河川課・生活安全課 TEL 029-273-0111

①土砂災害についての知識を身につけておきましょう!

土砂災害警戒区域とは… 茨城県が実施する基礎調査により、土砂災害のおそれがあると指定された区域

土砂災害警戒区域
通称:イエローゾーン

土砂災害が発生した場合に、生命または身体に危害が生じる恐れがある区域。

土砂災害特別警戒区域
通称:レッドゾーン

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域。

警戒区域図解	被災状況	前兆現象
<p>土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)</p> <p>土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)</p> <p>がけ崩れ</p>	<p>がけ崩れは、大雨や長時間にわたる雨、地震などの影響で急ながけや山の斜面が崩れ落ちる現象です。住宅の近くで突然発生すると逃げ遅れる人が多く、大きな人的被害をもたらします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●がけに亀裂が入る。 ●小石が落ちてくる。 ●木が揺れたり傾いたりする。
<p>雨の強さと【危険度】チェック 一時間雨量の目安</p>	<p>やや強い雨</p> <p>1時間に10~20mm未満</p> <p>ザーザーと降り、跳ね返りで足元がぬれる。一面に水たまりができる。</p>	<p>強い雨</p> <p>1時間に20~30mm未満</p> <p>どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。車のワイパーを速くしても見づらい。</p>
<p>激しい雨</p> <p>1時間に30~50mm未満</p> <p>バケツをひっくり返したように降り、道路が川ようになる。</p>	<p>非常に激しい雨</p> <p>1時間に50~80mm未満</p> <p>滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は役に立たない。車の運転は危険。</p>	<p>猛烈な雨</p> <p>1時間に80mm以上の雨</p> <p>息苦しくなるような圧迫感がある。あたり一面が白っぽく視界が悪くなる。</p>

②土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう!

自宅周辺の危険箇所を確認

ハザードマップから、自宅周辺の危険箇所を確認し、安全な避難ルートを考えておきましょう。



みんなで避難場所、連絡方法の確認

家族と一緒に避難場所や連絡方法を確認しておきましょう。



(裏面参照)

③避難時の心得を確認しておきましょう!

①非常持ち出し品の事前準備を



避難時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しましょう。

②正確な情報収集と自主的避難を



テレビ・ラジオ等で最新の気象・災害・避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

③お年寄りなどの避難に協力を



お年寄り、子ども、障がいのある人などは、早めの避難が必要です。避難の際にはみんなで協力しましょう。

④動きやすい格好、2人以上での避難



避難するときは、動きやすい格好(靴は、はきなれた運動靴)で、2人以上での行動を心がけましょう。

④ほかの種類ハザードマップも確認しておきましょう!

土砂災害は大雨や地震など、さまざまな災害の影響を受けて発生します。このハザードマップとあわせて、洪水や内水など、各種災害のハザードマップ(市のホームページに掲載および市役所等で配布)も確認しましょう。

ハザードマップ掲載ページ



避難判断の基準(警戒レベル等)

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。警戒レベル4 避難指示になる前に必ず避難しましょう。

警戒レベル 5	緊急安全確保	安全な避難ができず命が危険な状況です。屋外への避難が困難な場合は、垂直避難等の命を守る最善の行動をとります。
警戒レベル 4	避難指示	速やかに危険な場所からの避難を行います。避難先は近くの指定避難所を基本としつつ、安全な地域にある親戚・知人宅等も検討します。
警戒レベル 3	高齢者等避難	避難に時間がかかる方は早めの避難をします。そうでない方も予定を見直すなど、情報収集や避難準備を始めます。
警戒レベル 2	気象情報(注意報等)	今後に備え、こまめにニュース等を見る、避難時の非常用持ち出し袋の確認などを行います。
警戒レベル 1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

※警戒レベルは必ず順を追って出るものではなく、気象状況が急変した場合などは即時高いレベルの発令となることがあります。

警戒レベル5に相当する大雨特別警報が発表されたら

数十年に一度、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。ただちに「命を守る行動」をとってください!

インターネットを利用した情報収集

気象庁ホームページ「警報・注意報」

PC・スマートフォン版



「キキクル」(土砂災害(大雨警報)の危険度確認)

PC・スマートフォン版



国土交通省防災情報提供センター

PC・スマートフォン版



茨城県 土木部雨量・河川水位情報

PC版 スマートフォン版



Yahoo! 防災速報アプリ

※アプリ内「設定」→「地域の設定」にて「ひたちなか市」を設定してください。



市役所からの情報 [事前登録が必要なものあり]

ひたちなか市ホームページ

PC・スマートフォン版



SNS(ソーシャルメディア)

ひたちなか市は、TwitterやLINEから情報発信しています。(LINEは登録が必要です。)



LINEの「友達追加」から「ID検索」で登録してください。

LINE ID : @hitachinacity

防災行政無線

市内に設置している放送塔や戸別受信機から、防災情報や緊急情報が放送されます。

メール配信サービス「ひたちなか安全・安心メール」

「安全・安心メール」は、市の災害・防犯情報を、登録した携帯電話へメールを配信するサービスです。



ひたちなか市の避難所混雑状況マップ(VACAN Map)

スマートフォン版



非常持ち出し品を準備する

いつでも避難できるように、非常持ち出し品を準備しておきましょう。

基本持ち出し品リスト

- 携帯ラジオ
- 医薬品
- 飲料水
- ロープ
- 現金・貴重品
- マスク
- 懐中電灯
- お薬手帳
- 食料品
- ろうそく
- 下着類
- カップ 等



赤ちゃんがいる家庭のプラス持ち出し品

- 紙おむつ
- 除菌シート
- おしりふき
- ミルク
- 母子手帳
- 抱っこひも 等

高齢者・介護者等がいる家庭のプラス持ち出し品

- 大人用おむつ
- 老眼鏡
- 介護用品
- 補聴器 等

※リストを参考にして、非常持ち出し品を準備しましょう。

動きやすい服装で避難を!

荷物は少なく、両手があくリュックがオススメ

ヘルメットなどで頭を保護し、ヘッドライトをつける

存在を知らせるための笛

軍手などで手を保護

夏でも長袖、長ズボンで

長靴は避け、ひもで締められる底の厚い運動靴や登山靴などが良い



避難所の開設情報に注意!

やむを得ず避難所に避難する場合は、場所により開設状況が異なる場合があるので、開設しているかどうかを、市ホームページなどで確認しましょう。



自主避難について~危険を感じたらすぐ避難しよう

最近の全国各地に見られる局地的豪雨のような突発的な異常気象の場合には、行政からの避難情報が間に合わないケースもあります。

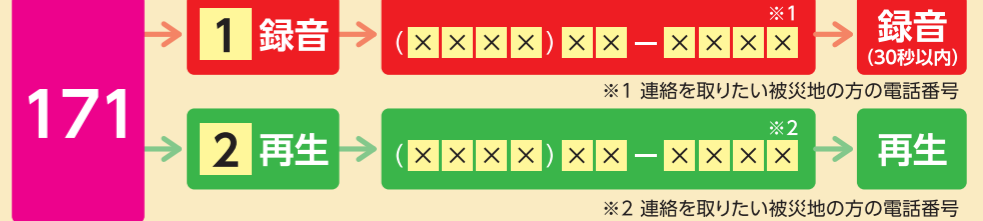
身の危険を感じたら行政からの情報を待たずに、自らの判断で避難行動を開始してください。また、避難先には災害リスクの少ない親戚宅や友人宅など、避難所以外の場所も検討しましょう。



災害用伝言サービス 安否の確認など、家族や知人との連絡にご活用ください。

災害用伝言ダイヤル 171

災害発生時の電話がつながりにくい状況の時に、安否情報を録音し伝えることができるNTTのボイスメールサービスです。「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従い伝言の録音や再生を行います。



※詳しい内容はNTT東日本のホームページで確認して下さい。

ホームページ <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

災害時の文字の伝言版「災害用伝言板」

大きな災害(震度6弱以上の地震など)が発生した場合に、携帯電話各社では、ネット上に「災害用伝言板」が緊急開設されます。緊急時に備え、事前に確認をしておきましょう。

各社Webサイトのトップ画面の「災害用伝言板」を選ぶ

登録を選ぶ

残したいメッセージの項目を選ぶ(コメントも入力可)

登録を選ぶ

確認を選ぶ

相手の携帯電話を入力

確認を選ぶ